



原遺跡第8次調査が終了しました…

令和5年度で8年目となる原遺跡第8次調査が終了しました…。

ではみなさん、原遺跡とはどんな遺跡だったか覚えていますか。

原遺跡については文化財通信第10、11、12号で紹介!



8次調査の現場

8次調査で分かったこと



※見やすくするため、溝などの大きなものだけ記しています。

- ①第6次調査と第7次調査で確認された大きな溝の北側部分が見つかりました。
- ②①の大きな溝は少なくとも東へ47m以上の延びていることがわかりました。
- ③大きな柱の跡がいくつか発見され、その柱の中には、律令国家の統治をものがたる真北を向いたものがありました。
- ④①とは別の大きな溝が発見されました。(図 ■ と ■ の溝)
- ⑤阿武隈川に近い南側では、川の氾濫跡が確認され、古代の遺跡の痕跡が消滅している可能性が高いことがわかりました。

8次調査で発掘された遺物の一部を紹介!



■ の溝から発見された円面硯(硯)



溝の延長部分で見つかった須恵器・長頸瓶



建物跡で見つかった須恵器・ふた



建物跡で見つかった土師器・鉢